

第 26 回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会実行委員長報告

第 26 回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会は、会場の都合にて例年より若干早く 9 月 16 日(金)に開催しました。航空宇宙工学専攻 鈴木真二先生の特別講演「国産飛行機誕生から 100 年、国産航空機の現状と将来」をはじめ、口頭発表(特別企画を含)が 13 件、ポスター発表・作品展示で 20 件の発表が行われ、118 名(工学系研究科技術職員 68 名、情報理工学系技術職員 1 名、学内者 31 名、学外者 18 名)の方々にご参加いただき、活発な質疑が行われ、有意義な発表会となりました。今回の口頭発表は、①特別企画の実施 ②専門技術グループの発表 ③情報工学系研究科の発表が、主な特徴でした。ポスター発表では、個人発表、団体発表(研究基盤部門、教育基盤部門、共通技術部門や、専門技術グループ等)にも取り組みました。

発表者から選考を行い、研究科長賞をシステム創成学専攻・金井 誠氏、吉田二郎氏、森田明保氏「全機械式手動卓上万能試験機の設計」が受賞しました。又、技術部長賞は電気系工学専攻・高橋 登氏「節電のための小電力サーバー導入実験と仮想化による計算機の削減」が受賞しました。ポスター賞団体部門は情報理工学系研究科知能情報学機械専攻・長坂恵理氏、田中雅行氏、永井おりが氏、中垣好之氏、斎藤正光氏、山口真奈美氏「ロボット工学演習のアンケート評価 機械工学実験・ロボットによるラインとレースⅡ」、ポスター賞個人部門を航空宇宙工学専攻・小林やよい氏「CFRP製インフレータブル構造物の試作」および安全衛生管理室・大久保徹氏「放射線測定機の使用方法」が投票同数にてそれぞれ受賞しました。

研究科長賞・技術部長賞の選考方法は、近山技術部長と協議を経て 6 名の委嘱した選考委員により、技術報告の原稿、当日の発表をもとに行われました。ポスター賞は、個人部門および団体(グループ含)部門の各部門ごと、学内外の参加者に選定して頂き投票により選出しました。

又、報告集「技術報告」では「口頭発表原稿」、「ポスター発表原稿」、「原稿発表のみ」も含め 56 件の発表を頂きました、発表申込者の皆様に感謝いたします。

開会後の挨拶では研究科長および技術部長より技術職員への更なる期待をこめた温かいメッセージをいただきました。教員、事務部の皆様のご理解やご支援、口頭発表の各司会者およびカメラマンをはじめ技術職員の皆様のご協力によって、無事技術発表会を開催できたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。若干ではありますが、不行き届きがありましたことについて、深くお詫び申し上げます。

技術職員の参加者数や発表申込数は若干増減しましたが、二年前より取り入れて頂いたポスター発表も技術職員へ浸透しつつあり、新しい企画を取り込むことによりこれからも期待できそうです。技術発表会は、四半世紀が過ぎ社会情勢および新たな技術変化に柔軟に対応し、より充実した技術成果が出現することでしょう。最後に近山先生をはじめ不慣れな委員長を支えて下さりました、実行委員会の皆様に心から感謝を申し上げます。